

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-5-51893 認定NPO法人北海道自由が丘学園)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <https://www.hokjioka.net> E-mail : codmoka@b216.blowth-net.co.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。



INDEX

- P1: 巻頭言
- P2: ヒューマンイラスト/
運動、会費納入他
- p3: 「25 方針」、他
- p4-5: 新学期の展開
スクール全体・中学
- p6: ↓ /初等部
- p7: 研修レポート
- p8: エッセー、カレンダー
*「チラシ」

◆3月29日 :居場所「No Food No Life」

地域児童むけの「みんなのお家」の春休み例会は食育。
家庭科授業後に、和洋食づくり。無事にできました。

「ともに学ぶ、ともに愉しむ」

自由が丘月寒スクール・理事/教科・活動担当 滑川 大樹

もともと博物館で、学校では教わらない深い知識や先人の知恵などを伝えたい、という思いから学芸員の資格を習得しました。そこから縁があり、自由が丘学園で働く*ことになりました。「教師経験のない私が、子どもたちに上手く“伝える”ことができるのか」と、不安いっぱいスタートしたのが昨日のように思い出されます。

そんな私の授業で、大切にしていることがあります。それは「学ぶということは本来楽しいことなんだ」ということを伝えることです。

「どうして?」、「なるほど!」、など興味が沸けば、人は自発的に学んでいきます。それは子どもも大人も変わりません。そして、その「学びの種」はいたるところに転がっています。私は、授業はもちろん普段の生活から、子どもたちと一緒に「学びの種」を探し、ともに育んでいきたいと考えています。

この月寒スクールには、生徒・スタッフを含め幅広い世代、そして様々な経験をしてきた人たちが集まってできています。その中で得た体験は、数年という短い期間でも大きく人を成長させます。私自身、これまで関わってきた生徒たちから多くのことを学ばせてもらっています。スクールに通う生徒たちにも、将来スクールに通った時のことを振り返って「かけがえのない経験をした」と思ってもらえるよう、これからも邁進していきたいと思います。

注* スタッフ募集で来たのが 10 年近く前の事、気づけば生徒たちの人気者。「ナメロ」「ナメちゃん」の呼び名を売り(?)に理科・社会系+行事・居場所と幅広く担当。昨年度より3名役員配置の一人となり、期待が広がる。(編集子)